

学校だより

学校だより 7月号
令和7年7月1日
発行者 外日角小学校
TEL 283-0040

『見取る・信じる・任せる・認める』

校長 板井 雅春

1学期も残りわずかとなり、もうすぐ子供達待望の夏休みとなります。暑い日が続く中、1学期のまとめに励んでいます。

7月のよく知られた異名として「文月（ふみづき）」があります。これは旧暦の7月、今の暦でおおよそ8月を表しています。語源には色々な説がありますがその中の一つに、稻の穂が実る頃という意味の「穂含月（ほふみづき）」が転じて「文月」になったという説があります。さらには、むかし七夕に書物を干す行事があって書物（文）をひらく（披く）という意味から、「文披月（ふみひろげづき）」と呼ばれるようになり、それが「文月」になったという説もあるようです。



さて、振り返ってみると、子供達は4月の入学式・始業式から、勉強はもちろんのこと、毎日いろいろな学びをしてきました。1年生、2年生は、朝顔やミニトマトの水やりを毎日欠かさず行っています。3年生は、市の施設などについて勉強してきました。4年生は、6月3日、宇ノ気小学校体育館で開催された「市小学校器械運動交歓会」に、また、5年生は13日、河北台中学校講堂で行われた「市小学校音楽会」に外日角小学校の代表として参加しました。4年生は3種目（鉄棒、跳び箱、マット）の演技の中で1種目あるいは2種目、5年生はすてきな合唱奏「アンパンマンのマーチ」、合唱「ふるさと」を披露してくれました。両学年とも全校児童の応援を背に、長い間の練習の成果を十分に発揮しました。6年生は、クラブ・委員会などで自主的に活動し、「なかよし遊び」「縦割り掃除」では下級生の面倒をしっかりと見てくれました。

1学期、子供達はそれぞれの学年、それぞれの学級で一人一人がその子なりに成長してきました。「漢字をたくさん覚えた」、「大きな声で、本が読めるようになった」、「計算のまちがいが少なくなった」、「絵や図を使って考えられるようになった」、「いいあいさつができるようになった」、「忘れ物が減った」、「本をたくさん読めた」、「友達がたくさんできた」、「下級生にやさしくできた」等々がんばったこと、できるようになったことがたくさんあると思います。

「1学期にどんなことをがんばったかな？・できるようになったかな？」子どもたちにぜひ聞いてあげてください。がんばったことを言えたとき、素敵な行動がとれたときなどに、タイミングを逃さずにほめたり、共感したりしていただきたいと思います。当たり前にできているときにも、「いつもしっかりがんばっているね。頼もしいな。」「忘れずにきちんと取り組んでいるね。うれしいな。」と声をかけて認めてあげることも、とても大切です。

学校でも、子供達のよさやがんばりをたくさん見つけて、ほめる時は思い切りほめるなど「見取る・信じる・任せる・認める」を全教職員が意識して、子供達の心を伸ばす教育の充実に努めてまいります。

ご家庭でも通知表の内容や日頃の様子などのことで、よさを認め、心からほめてあげてください。子供達は、きっと楽しい夏休みを迎えることができると思います。